



むかわ竜（むかわ町穂別産）産出部位報告



新たに並べたむかわ竜全身骨格化石

小林快次准教授（北海道大学総合博物館）が中心となって進めているむかわ竜化石についての調査・研究が進展しています。2018年9月発表（ホッピーだよりでは11月発行のNo.408）までの時点では、一つ一つの脊椎骨や肋骨などの正確な部位が決まっていなかったが、それらの位置が決まってきました。

さらに、2018年9月の発表では部位が判明している骨化石が157個（肋骨・血道弓を含まない）でしたが、その総数が222個（肋骨・血道弓も含む）に増えました。部位が明らかになっている骨の個数は、ハドロサウルス類1個体に見られる骨の総数に対して、全身の約60パーセントとなっています。

常設展示アンモナイト追加



展示スペースの都合上、置くことのできない資料もありましたが、寄贈資料展2018で展示したアンモナイトのうち、14点を新たに博物館ホールの展示に加えました。ここでは、むかわ町穂別産のものを中心とした北海道産の大型・中型アンモナイト計31個体を見学することができます。

学芸員 西村智弘

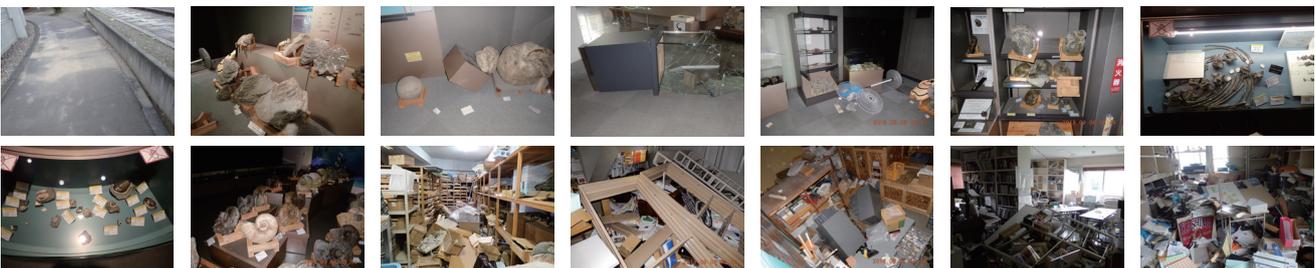
白亜紀アンモナイト キャナドセラスの成長変化^{かいめい}の解明



アンモナイトには成長とともに形が変わる種類が多いので、種類ごとの成長変化^{はあく}を把握し、種間の違い^{ちが}を明らかにしないとそれらの多様性^{せいりかい}が理解できません。それらを把握する一つの方法が一個体のアンモナイトを少しづつ壊しながら成長変化を観察することです。本論では北海道平取産のキャナドセラス・コスマティの成長変化を調べ、日本産の近縁^{きんえん}他種との違いを明らかにしました。

重田康成 (国立科学博物館), p. 1-11

穂別博物館の 2018 年北海道胆振東部地震被害^{いぶり}



地震被害をまとめ、被害の特徴^{とくちょう}を明らかにしました。また、博物館資料の被害軽減^{しりょう}方策^{けいげんほうさく}を示しました。

西村智弘・櫻井和彦 (むかわ町穂別博物館), p. 13-25

2016 年のむかわ竜発掘記録^{りゅうはくつ}

補足的に行った第四次恐竜発掘^{きょうりゅう}の記録をまとめました。恐竜化石の可能性^{かのうせい}があるのは、3点のみでした。

櫻井和彦・西村智弘 (むかわ町穂別博物館), p. 27-33

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生~高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生~高校生：無料

2019年3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
2019年4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

休館日

